

(3) 行動問題を示す発達障害児をもつ保護者と教師の 効果的な連携方法の検討

医療福祉学部 医療福祉学科 岡本邦広

行動問題を示す発達障害児をもつ保護者と教師の効果的な連携方法を検討した（研究1～5）。障害児の保護者と専門家による家庭での支援が行われた先行研究30編のメタ分析結果を基に、4種類の協議ツールを考案した（研究2）。協議ツール(1)は、支援対象の行動問題を選定するために用いられた。協議ツール(2)は、選定された行動問題に対して機能的アセスメントに基づく複数の支援手続きが記載された。協議ツール(3)は、保護者が協議ツール(2)の内容を評価するために用いられた。協議ツール(4)は、保護者が家庭で行った対象児への支援を評価するために用いられた。協議ツールやその内容等を解説したマニュアルブックを基に、対象児の保護者と協議を行った結果、保護者による効果的な支援が提供され、対象児の行動問題の低減が示された（研究3～5）。結果から、協議ツール及びマニュアルブックを活用した協議方法の有効性を検討した。